

お 泉 水

2020年3月

◆ 就職支援に役立つデータベースの活用法2019

大学図書館職員およびキャリア支援担当者を対象にした学生の就職とキャリア形成に役立つオンラインデータベース活用セミナーに参加させて頂いた。

基調講演「企業が変わる、採用が変わる」では、求職者と企業の変化を捉え続ける必要がある一方、就活ルールが変化する時代だからこそ「変わらぬもの」を直視するべきとお話があった。就職することが目的とならぬよう、働き方や就職の質について大学や図書館が支援できることを模索する必要があると感じた。データベースの提供企業によるパネルディスカッションでは、ツールを周知し活かすための集客事例が紹介され、館外部署と連携することで、アピールの幅が広がる事例を知ることが出来た。特別講演では、「これから何が起こるのか？-大学職員が知っておきたい未来発想法」と題して、世の中で起きている変化や、これからの時代予想について、大きなトレンドを掴むヒントが紹介された。

これらの講演を拝聴し、支援する側として、世の中の流れに敏感であり続けるとともに、図書館に備えている電子資源の特徴や、各種情報ツールの活用法について精通し、就職活動やキャリア形成に役立つ図書館資源の周知に繋がりたいと思った。

(福井大学総合図書館 藤井 瑛子)

◆ 第21回図書館総合展に参加して

「図書館総合展」への参加は4回目となった。「県内最小規模図書館から4年連続、横浜まで？」と思われるだろうか。当町が図書館再整備の時期に差し掛かったということである。2016年「人と地域と文化を結ぶ公共施設」「地方創生時代の町立図書館(福智町)」、2017年「瀬戸内市の図書館政策」「地方自治と図書館」という地方創生をテーマにしたフォーラムへの参加である。2018年は「従来型複合施設を超えるデザイン・プログラム(須賀川市)」「観光と図書館(恩納村)」という図書館と異業種の相乗効果を押し出したフォーラムへの参加である。2019年は大学や出版社等様々なブース、主催者特設コーナーを見学、「地域を支える広場としての図書館」をテーマにしたイベントに参加した。

各回の Library of the Year への参加(聴講というべきか)で得たものと共に、新たな図書館運営の基本計画にどう生かすことができるかが、今の私の課題である。

自ら考え行動し、まずは個人として垣根を超え立場の異なる人々に学び、多くの情報を得る。そして地域へ町へ、そこに暮らす人々へ何をどうつなぐことが出来るのか。多くのことを「図書館総合展」は教えてくれた。

(池田町立図書館 飯田 眞佐子)

◆ 第46回近畿学校図書館研究大会(奈良大会)

令和元年8月8日(木)から9日(金)にかけて「第46回近畿学校図書館研究大会(奈良大会)」が奈良県奈良市で開催された。福井県からは発表者、司会者、助言者を含めて41名が参加した。本研究大会では「未来への学びを拓く学校図書館」を主題として、「まなび」、「ひろがり」、「つながり」を分科会テーマに、講義、ワークショップ、実践発表や演習などが行われた。

帝塚山大学客員教授/半蔵門ミュージアム館長の西山厚氏を講師に迎え、「美智子さまと私」という演題で記念講演会が行われた。西山氏は上皇后様の「本というものは、時に子どもに安定の根(根っこ)を与え、時にどこへでも飛んでいける翼を与えてくれるもののようです。」というお言葉を紹介し、「読書は『楽しい』だけでいいのか」と私たちに訴えかけられた。そして、「子どもの時の読書によって『深い悲しみ』を知ることが重要であり、子どもの時に読んだ本によって『人生の危機』を乗り越えることができる」と話された。また、西山氏は「図書館は人類がこれまでに生み出した中で、最も素晴らしいもの！」と話されるなど、とても印象に残った講演会であった。

記念講演会、2日間にわたる分科会を通して800名以上の参加者が学び合い、これからの学校図書館の役割について考えることのできた充実した研究大会であった。

(福井県学校図書館協議会事務局 中村 弘之)

◆ 令和元年度東海北陸地区公共図書館研究集会

令和元年10月10日(木)と11日(金)に富山県立図書館で開催された研究集会に参加した。

研究主題は、「『図書館』と『まち』と『ひと』を元気にする」と題して開催され、立命館大学文学部教授の常世田良氏が、日本の公共図書館とアメリカの公共図書館との相違や日本の公共図書館の機能について講演された。アメリカの公共図書館は、高学歴のビジネスマンの約70%が仕事の問題解決のために図書館を利用しており、アメリカでは図書館の存在価値が高い。それに比べて日本の公共図書館は、一般的に本(小説)を借りる場所といった認識でしかないのが現状である。

図書館の本来の機能は、多様な情報を収集し、的確な情報を提供することである。図書館員は、住民はもとより、行政や地元企業、教育機関が必要とする情報を収集し、利用者が望む的確な情報を提供しなければならない。そのためには、図書館員は利用者のニーズを把握した資料収集や、情報検索のスキル向上に努める必要があると強く感じた。

(おおい町立名田庄図書館 村松 さおり)

令和元年度東海北陸地区図書館地区別研修を開催

令和元年10月29日(火)から11月1日(金)までの4日間、東海北陸地区図書館地区別研修を福井県立図書館で開催した。当県では平成24年以来7年ぶりの開催となり、参加者数は106名(延べ218名)であった。

初日は、慶應義塾大学文学部教授の根本彰氏に「情報リテラシーのための図書館」として基調講演をいただいた。探求型サービスの拠点となる公共図書館が今後取り組むべきサービスの一つとして、地域資料の重要性について言及された。地域の図書館にしかできない創造的な業務として、地域資料を活用し積極的に図書館の価値を作っていくことが大切である、とのことであった。

その他、「著作権法をめぐる動き」(南亮一氏)「図書館における危機管理」(千錫烈氏)「ティーンズの読みたい心に火をつける！」(木下通子氏)「公立図書館と学校・学校図書館の連携」(鎌田和宏氏)の講義・演習を行い、事例発表「小さくはじめられる図書館の取組」として、黒部市立図書館宇奈月館、美浜町立図書館、福井市立桜木図書館の取組が紹介された。

「公立図書館と学校・学校図書館の連携」では、学校図書館ではまだまだ蔵書が不足しているため、公共図書館の資料貸出が求められていることを話された。また、図書館を活用した教育の効果として、教員から「子どもたちが簡単にあきらめなくなった」という言葉が返ってきたとのことであった。読書は人づくりでもあることを改めて感じた。

宇奈月館の事例では、利用者のニーズや地域の特性を把握しながら必要な基本資料も補充し、古くなった資料は思い切って除籍するといった蔵書づくり、地域内2つの図書館の蔵書の交換展示、地元の人を紹介する展示を図書館で行い来館を誘導するなどの取組が紹介された。「他館と比較して卑屈にならずに、できることから無理なく始める」という言葉に、参加者は一歩踏み出す元気をもらったのではないかと考えている。



◆◆◆ 「福井県郷土資料分類表」の一部改訂について ◆◆◆

「福井県郷土資料分類表」は、福井県図書館協会が昭和29年に作成し、昭和52年に最初の改訂を行った。その後「日本十進分類表」の8版への移行を機に「福井県郷土資料分類表(昭和60年改訂)」(以下「福井県郷土資料分類表」)を発行している。その「はしがき」には、市町村立図書館や学校図書館を中心とした委員10名による3か年延べ7回の改定委員会を重ねたとあり、「福井県郷土資料分類表」の重要性がうかがえる。

さて、平成の大合併を経て、従来の地域区分ではそぐわないところが出てきたとの意見が聞かれるようになった。そこで、県立図書館で地域区分の一部を見直し、「福井県郷土資料分類表」の修正案を令和元年度福井県図書館協会総会に提出したところ承認されたので報告する。

今回の修正点は、「地域区分助記表」の一部と、それに伴う「本表」の一部の2点である。「地域区分助記表」については、下表の下線部分が修正箇所となる。

現行	今回の修正
0. 全県	0. 全県
1. 越前[嶺北全般に関するものも、ここに収める]	1. 越前[嶺北全般に関するものも、ここに収める]
2. 福井市, 坂井郡, 足羽郡, 吉田郡	2. 福井市, <u>あわら市・坂井市(坂井郡)</u> , (足羽郡), 吉田郡
3. 大野市, 勝山市, 大野郡	3. 大野市, 勝山市, (<u>大野郡</u>)
4. 鯖江市, 武生市, 今立郡, 丹生郡, 南条郡	4. 鯖江市, <u>越前市</u> , 今立郡, 丹生郡, 南条郡
5. 敦賀市(敦賀郡)[二州は、ここに収める]	5. 敦賀市(敦賀郡)[二州は、ここに収める]
6. 若狭[嶺南全般に関するものも、ここに収める]	6. 若狭[嶺南全般に関するものも、ここに収める]
7. 小浜市, 三方郡, 遠敷郡, 大飯郡	7. 小浜市, 三方郡, <u>三方上中郡</u> , (<u>遠敷郡</u>), 大飯郡

福井県内図書館ポータルサイトの「情報共有ファイル」ファイル一覧 > 13ガイドライン等に「福井県郷土資料分類表(含む地域区分助記表)」(Excel様式)として入っているので、活用いただきたい。

図書館トピックス

☑ 「鯖図パス」始めました(鯖江市図書館)



利用者が図書館をより便利に使えるようなサービスが鯖江市図書館でまたひとつ増えた。令和元年12月からスマートフォンのアプリ「鯖図パス」を運用開始した。メインは貸出カードの代わりに使える機能である。App Store、Google Play どちらでもダウンロードできる。

まず、自分が持っている貸出カードの情報をスマートフォンに入力する。すると、アプリの画面にバーコードが表示されるようになり、アプリが鯖江市図書館の貸出カード替わりになる。その他、開館情報はもちろん、蔵書の検索がアプリ上で簡単にできたり、鯖江市図書館の貸出ランキングを見られたり・・・とスマートフォン上で色々なことができる優れたものである。

また、自分が読みたい本や読んだ本をリストに登録して管理することもできる。(この情報は利用者のスマートフォン端末に保存される。)パスワード登録者はマイページを表示し、自分の貸出状況の確認や資料の予約もできる。(実際は、図書館システムのスマホ用 Web OPAC へ遷移している。)

導入のきっかけは、開発業者からのアプリ開発と実証実験への協力依頼を受けたことから。デザイン的なこと、どのタイミングで次画面に移行するかなどの操作性の問題、そして試作品の不具合部分の改修などについて何度も意見交換を行った。令和2年2月27日現在、ダウンロード数は550件を超えた。運用開始後も継続して機能充実を図っており、次段階として、図書館の一部の座席の空席情報を表示できるように、センサーを用いた実証実験を3月から開始した。

鯖江市図書館が運営している図書検索アプリ「さばとマップ」へのリンクもある。探している本のキーワードを検索ウィンドウに入力すると、その本が図書館の地図上でどこの棚にあるか表示され、かつ、GPS の位置情報で、自分の今いる場所も画面上に表示されるため、探す本の場所まで簡単にたどりつくことができるものである。今後も問題点や利用者のニーズを開発者に伝え、より便利なアプリとなるよう努めていきたい。

☑ 「自動貸出返却機」の導入について(仁愛女子短期大学附属図書館)

令和元年8月23日に「自動貸出返却機」を導入した。導入したきっかけは、カウンターに職員が居なくても利用者が貸出・返却をスムーズに行えるように、あわせて、職員の貸出・返却作業の省力化を図り、レファレンスサービスなど別の作業に多くの時間を割けるようにという目的で設置した。また、どのような資料を借りるかを図書館員に見られたくない利用者のプライバシーを守れるという利点もあり、サービス向上の一助になると考えた。

この「自動貸出返却機」は、タッチパネルで操作し、画面の指示に従って貸出・返却処理をするもので、初



めてでも簡単に使用できる。貸出手続時には返却期限と貸出資料を印字したレシートが発行される。導入して半年が経ち、学生や教職員は物珍しさも手伝い、積極的に利用してくれている。使い方が分からない学生がいてもカウンター近くに「自動貸出返却機」が設置されているので、貸出処理や返却処理を説明しながら利用を促している。

今後の課題として、バーコードが読み取れない位置に貼られている資料等「自動貸出返却機」で手続きできない資料が存在している。それらを、順次整備していき、より便利に図書館を利用してもらえるように努めていきたい。

開館30周年(福井県立若狭図書学習センター)

福井県立若狭図書学習センターは、平成元年6月に前身である「福井県立図書館若狭分館」として開館し、平成7年に生涯学習機能を加えて「福井県立若狭図書学習センター」と改称。令和元年に開館30周年を迎え、さまざまな記念企画を実施した。

主なものとしては、5～6月に「若狭図書学習センターと嶺南の図書館の30年展」を嶺南地域の市町立および大学図書館と連携して、各館の特徴や見どころなどをパネル展示した。あわせて「メッセージツリー」として、利用者当館の思い出やメッセージを書いてもらい掲示した。

10～11月には「若狭路のミュージアム大集合! / 若狭路の学芸員が選んだ『私の1冊』」を嶺南地域の博物館・資料館と連携してパネル展示した。また読書週間前後には、利用者感謝プレゼント企画「御書印帳/スタンプ帳」を実施。利用の多かった方に、当センターのオリジナルクリアファイルなどをプレゼントした。

11月末には絵本作家・鳥の巣研究家の鈴木まもる氏を講師に、記念講座「絵本と鳥の巣の不思議」を開催。多くの聴講者で賑わった。

当センターは、嶺南地域の図書館および生涯学習の拠点として年月を重ねてきた。区切りの年を越え、今後も同地域の他の図書館への支援と連携、類縁施設などと協力しながら、利用者に対するサービス向上に努めていきたい。



福井県内図書館ポータルサイトの開設(福井県立図書館)

県立図書館は、2019年4月の図書館システム更新にともない、福井県内図書館ポータルサイト(以下「図書館ポータル」)を開設した。図書館ポータルは、専用ID・パスワードでログインして使用する、県内図書館向けのサイトである。

(1) 検索

「蔵書検索」では、県立図書館所蔵資料の検索ならびに県立図書館への相互貸借申込ができる。

「横断検索」では、県内市町立図書館・大学等図書館所蔵資料の検索が可能で、大学等図書館ならびに一部の市町立図書館への相互貸借申込もできる。

(2) 県内相互貸借

図書館ポータルで申込した相互貸借の内容を確認できる。

(3) 県立図書館との貸借

県立図書館からの借受資料ならびに県立図書館への貸出資料の確認ができる。「遠隔地返却」では、他館受取サービスによる到着予定資料の確認や遠隔地返却処理ができる。

(4) 情報交換

掲示板への新規投稿や投稿に対する返信などができる。

(5) 相互貸借メール

図書館ポータル上でのみ利用可能な簡易メールの送信・閲覧ができる。

(6) 情報共有ファイル

各種マニュアルや調査結果などの電子ファイルを閲覧できる。図書館の休館情報なども掲載している。ファイルのアップロードは県立図書館のみ操作可能であるため、掲載したい場合は、県立図書館への申し出が必要。

(7) 書誌ダウンロード

福井県立図書館が作成した書誌と国立国会図書館由来の書誌のダウンロードができる。

(8) 自館情報登録

参加館の連絡先やパスワードの変更ができる。

以上、各種機能を活用していただき、業務の効率化や図書館間の情報共有に役立てていただければありがたい。



◀県内図書館界の動き▶

☑ 福井県図書館協会

6月6日	令和元年度総会 『福井県郷土資料分類表』の一部改訂
9月	令和2年度子供の読書活動優秀実践図書館・ 団体(者) 文部科学大臣表彰候補者選考
12月18日	福井県図書館関係職員研修会 テーマ:「図書館を演出する」 講師:尼川ゆら氏(空間演出コンサルタント)
3月	協会報「お泉水」No. 50発行

☑ 福井県学校図書館協議会

5月16日	第1回福井県学校図書館協議会理事会
6月21日	第1回福井県学校図書館協議会推進委員会
6月25日	全国学校図書館協議会第9回総会
7月10日	SLBA2019年度第1期申込締切
7月23日	第2回福井県学校図書館協議会理事会
8月8日～ 9日	第46回近畿学校図書館研究大会(奈良県)
11月15日	SLBA2019年度第2期申込締切
11月27日	第3回福井県学校図書館協議会理事会
2月6日～ 7日	都道府県SLA事務局長会議 第65回青少年読書感想文全国コンクール 表彰式
2月24日	SLBA2019年度第3期申込締切
3月1日	『福井県の学校図書館 第65号』発刊
4月～ 9月	第45回福井県小学生読書感想文コンクール (福井新聞社主催)
6月～ 10月	第65回青少年読書感想文全国コンクール (全国SLA・毎日新聞社主催)
9月～ 1月	第31回読書感想画中央コンクール (全国SLA・毎日新聞社主催)

(福井県学校図書館協議会事務局 中村 弘之)

7～12月	県内公共図書館利用促進事業「水 上勉ふるさとを描く」	県内公共図書館
8月	中野重治没後40年記念作品集 の刊行	坂井市立丸岡図書 館
8月23日	国立国会図書館デジタル化資料 送信サービスを開始	福井市立みどり図 書館
9月1日	自動貸出機設置	仁愛女子短期大学 附属図書館
9月5日	図書館システムの更新	大飯町立図書館 (全館)
9月11日	図書館システムの更新	越前町立図書館 (全館)
9月27日	図書館システムの更新、ICタグを 使用しないセルフ貸出サービス を開始	美浜町立図書館
10月	読書手帳の作成	敦賀市立図書館
10月	「こども司書くらぶ」実施 (仕事体験、調べ学習演習)	福井市立、みどり、 桜木図書館
10月1日	開館時間の改定	小浜市立図書館
10月1日	図書館システムの更新	あわら市図書館 (全館)
10月5日	福井市高校生ビブリオバトル	福井市立桜木図書 館
10月12日	台風19号の影響により12時 から臨時閉館	県立図書館、若狭 図書学習センター
10月23日	北陸日報ほか紙面デジタル化資 料を参考室にて閲覧開始	敦賀市立図書館
10～11月	開館30周年記念「御書印帳/ス タンプ帳」を配布	若狭図書学習セン ター
11月	寄託資料「松平文庫」を県文書館 に移管	県立図書館
11月1日	図書館システムの更新、マイナン バーカードでの貸出開始	大野市図書館
11月16日	奥越合同読書会	勝山市立図書館
12月	図書館システムの更新、「鯖図ア プリ」の運用、マイナンバーカ ードでの貸出開始	鯖江市図書館
12月1日	図書館システムの更新	高浜町中央図書館

☑ 各図書館

4月	図書館業務全般を民間業者に 委託	若狭町立図書館
4月1日	図書館システムの更新	県立図書館、若狭 図書学習センター
4月2日	新フレンドリーバス運行開始	県立図書館
7月18日	高校生合同読書会	福井市立図書館
7月～ 8月	夏休み開館時間延長	福井市立、みどり 図書館

☑ 令和2年度研究集会および研修会(予定)

名称	開催地	日程
全国図書館大会	和歌山県	10月29～30日
全国公共図書館研究集会 サービス部門、総合・経営部門	大阪府	未定
東海北陸地区公共図書館研究 集会	福井県	未定
東海北陸地区図書館地区別研 修	三重県	12月1～4日
日本図書館協会地方講習会	福井県	未定

《 令和元年度 県外研修参加状況 》

研 修 名	開 催 日	場 所	図 書 館 名
学術情報基盤オープンフォーラム2019	5/29-30	東京都	福井大学附属図書館
私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会第1回研究会	6/14	京都府	福井工業大学図書館
平成31年(2019)度図書館司書専門講座	6/17-28	東京都	若狭図書学習センター
第15回学術リニューションセミナー2019 in Osaka	6/28	大阪府	福井大学附属図書館
私立大学図書館協会 2019 年度西地区部会総会・研究会	6/21	大阪府	仁愛大学附属図書館 福井工業大学図書館
全国図書館協会研修集会	6/29	東京都	美浜町立図書館
JUSTICE 電子資料契約実務研修会	7/12	愛知県	福井工業大学図書館
2019年度富士通大学図書館リニューションセミナーin東海	7/26	愛知県	福井大学附属図書館
第4回JMLAコア研修	8/1-2	東京都	福井大学附属図書館
第46回近畿学校図書館研究大会	8/8-9	奈良県	福井県学校図書館協議会
2019年度大学図書館員のためのIT総合研修	9/18-20	東京都	福井大学附属図書館
都道府県立図書館サミット2019	8/25	長野県	福井県立図書館
第21回(令和元年度)高等専門学校及び技術科学大学図書館情報交流集会	8/28-29	新潟県	福井工業高等専門学校図書館
私立大学図書館協会総会・研究大会および意見交換会	8/29-30	東京都	福井工業大学図書館
点字指導員講習会	8/30-31	東京都	福井県視覚障害者福祉協会 情報提供センター
私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会令和元年度総大会	9/13	愛知県	仁愛女子短期大学附属図書館
2019年度著作権セミナー	9/20	愛知県	福井県学校図書館協議会
文化庁2019年度図書館等職員著作権実務講習会	9/26-27	京都府	福井工業大学図書館 若狭図書学習センター
国立国会図書館令和元年度資料保存研修	9/27	京都府	福井工業大学図書館
第31回日本医学図書館協会北信越地区会研修会	9/27	長野県	福井大学附属図書館
CAT2020説明会	9/27	京都府	福井大学附属図書館
令和元年度国立大学図書館協会東海北陸地区助成事業研修会	9/27	富山県	福井大学附属図書館
2019年度機関リポジトリ新任担当者研修	9/30	兵庫県	福井大学附属図書館
就職支援に役立つデータベースの活用法2019	10/1	大阪府	福井大学附属図書館
国立国会図書館令和元年度障害者サービス担当職員向け講座	10/8-9	京都府	福井工業大学図書館
令和元年度東海北陸地区公共図書館研究集会	10/10-11	富山県	福井県立図書館 おおい町立名田庄図書館
図書館政策セミナー	10/18	東京都	美浜町立図書館
中部ブロック音訳担当者職員研修会	10/31- 11/1	三重県	福井県視覚障害者福祉協会 情報提供センター
中部ブロックサービス担当者職員研修会、点字図書館職員研修会	11/6-7	静岡県	福井県視覚障害者福祉協会 情報提供センター
令和元年度石川県図書館大会	11/8	石川県	鯖江市図書館 池田町立図書館
児童文学連続講座	11/11-12	東京都	福井県立図書館
第21回図書館総合展	11/13	神奈川県	池田町立図書館
国公立大学図書館協力委員会 2019 年度大学図書館シンポジウム	11/13-14	神奈川県	福井工業大学図書館
全国図書館大会	11/21-22	三重県	福井県立図書館 鯖江市図書館
全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門)	11/28-29	島根県	福井県立図書館
都道府県立図書館児童サービス担当者会	11/29	島根県	福井県立図書館
第4回JMLA学術集会(CEコース文献検索演習中級2019)	12/6	東京都	福井大学附属図書館
全国公共図書館研究集会(サービス、総合・経営部門)	12/12-13	千葉県	福井県立図書館
日本図書館協会地方講習会	2/4	愛知県	福井県立図書館 鯖江市図書館